（第3種郵便物認可）

日台交流の輪 広げる

静岡理工科大、袋井国際交流協会 台湾の大学と連携

袋井市の静岡理工科大（野口博学長）、袋井国際交流協会（下山好治会長）と、台湾の聖約翰科技大は今月、学術や文化の日台交流を連携して進めることで合意し、覚書を交わした。

聖約大は台湾北部の新北市にある、科学技術系の私立大学。両大学はともに科学技術系で、艾和昌（アイハーチャン）学長と静岡理工科大の機械工学学科長・国際交流センター長の十朱寧教授が旧知の間柄であることから、連携に向けて話が進展した。

戦前の台湾で農業発展に貢献した水利技師、鳥居信平（一八八三～一九四六）が袋井出身という縁から、袋井国際交流協会も加わり、交流を進める。

八日に十朱教授、下山会長が聖約大を訪れて覚書を交換した。今後、教員や学生同士の交流や技術の情報交換、研修などで協力関係を深める考え。

下山会長は「台湾ではダム開発などに尽力した鳥居信平の知名度が今も高く、今回の連携の背景となった。民間交流の輪が行政にも広がっていけば何より」、十朱教授は「両大学の特色を生かして成果をあげたい」と話した。（正木徹）

（上）覚書を取り交わす艾和昌学長（左）と十朱寧教授
（下）覚書を取り交わす艾和昌学長（左）と下山好治会長
＝いずれも台湾で（袋井国際交流協会提供）

寄託 中日社会事業団東海支部受け付け 17日

◉雄踏町ねんりんクラブ女性部が社会福祉事業資金として1万円。13日、雄踏ふれあい広場で行った日用品バザーの売上金の一部を山内よし子代表が中日新聞雄踏店を通じて本社へ。

竜洋地区の2郵便局

元日に全

メッセージの書き方について説明する局員たち＝磐田市豊岡の竜洋中で

地元小中学生も直筆メッセー

表面には協賛企業の名前を印刷し、裏面には「レターパック・宅配便で現金を送れ」「ATMに行くように指示する」などの詐欺の手口を表記して注意喚起する。

地元の四つの小中学校も協力。児童生徒が裏面に、学校と学年、直筆メッセージを記入して詐欺防止に一役買う。十六日には両郵便局長が竜洋中学校に出向いて全校生徒に協力を依頼した。

お茶の

掛川・中

掛川市中央小学校で十七日、掛川茶商青年団（佐次本貢之団長）の「お茶の淹れ方教室」があり、約百人の三年生が手順を学んだ。

おいしいお茶の味わいを楽しみ、地元で盛んな茶業への理解を深めてもらおうと、若手茶商が取り組んでいる。メンバー十数人が来校し、お湯の適温や茶葉の量、淹れる時間をアドバイス。紅茶、緑茶、ウーロン茶など七種類の茶葉の違いを知る趣向もあった。

児童は茶摘み体験や茶葉の手もみ体験を積んできており、興味津々の面持ちだった。急須で淹れた掛川産深蒸し茶も味わった。（正木徹）

藤枝市の駿河台コミュニティセンターで十三日あった稽古では、音楽監督でエドガルドの役も務める水船さんらがSOLEのメンバー

本番に向
SOLE
ら＝藤枝

おくやみ 申し上げます

磐田市

鈴木 なつ子さん86歳（すずき・なつえ）17日、病気のため死去。自宅は磐田市南田66。通夜は18日後6時、葬儀・告別式は19日前9時30分、磐田市上岡田1060の1のJA遠中セレモニア磐田で。喪主は長男俊泰（としひろ）氏。

安間 孝司氏75歳（あんま・たかし）17日死去。自宅は磐田市西之島。通夜は18日後6時、葬儀・告別式は19日後0時30分、磐田市上岡田1060の1のJA遠中セレモニア磐田で。喪主は妻あつ子（あつこ）さん。

掛川市

熊澤 修氏81歳（くまざわ・おさむ＝元熊澤塾長）13日、老衰のため死去。自宅は掛川市城北。通夜は19日後6時、葬儀・告別式は20日前11時、掛川市のイズモ葬祭掛川で。喪主は（みやこ）さん。

菊川市

小原 い（こはら・）日、老衰の宅は菊川市18日後6時式は19日後半済177遠州夢咲やルで。喪（しげお）氏。

村田 猪（らた・いぞ去。神式に日後6時、59の2の・告別式は菊川市加茂ズモ葬祭イ川で。喪主さし）氏。

鈴木 あ（すずき・老衰のため菊川市加茂3。通夜は葬儀・告別式時、菊川市加